

によど川

仁淀川町広報

2009

3月号

勇壮華麗に**秋葉まつり**

集落見聞録へ中村へ

池川中 環境美化優良校に

町人事行政の運営等の状況



山里に熱気 勇壮華麗な秋葉まつり

二月十一日、別枝の里が熱気に包まれる日
がやってきました。

二百年以上の歴史を誇る秋葉まつりの最大の呼び物は「練り」。鼻高と呼ばれる先払いを先頭に、みこしを中心とした神幸行列、これに続く本村、沢渡、霧之窪の三つの奉納組、総勢約二百人の長い行列が岩屋神社から秋葉神社に練り歩きます。法泉寺や旧庄屋中越家などでは、太刀踊りや鳥毛ひねりなどが奉納されます。

この日は、年明けから練習を重ねてきた人たちの晴れ舞台です。太刀踊りの子どもたちは初め緊張気味でしたが、踊りを重ねることに慣れた姿に。鳥毛ひねりの若者も一つの動きに集中し、気合いの入った毛やりの投げ合いを披露しました。

奉納場所には、身動きできないほどの観客が詰めかけ、歓声を上げたり拍手を送ったり、早春の山里で練り広げられるまつりを堪能しました。



豪快に揺さぶられるみこし

秋葉まつり



真剣を使っでの太刀踊り

町の特産品を販売・大盛況!

練りが進む道のあちらこちらに町の特産品が並びました。

コスモス農協仁淀支所、町商工会婦人部・青年部、町観光センターなど、どの店も盛況で売り切れ続出でした。



〈秋葉まつりの里を元気にする会・えんこ蔵〉秋葉の名物、いりもち・田楽などをそろえた地元のグループ



〈てっぺんそば組合〉
おいしい手打ちそばに行列が



〈池川茶業組合〉
おいしいお茶の試飲販売が好評でした

まつりを盛り上げた主役・脇役たち



沢渡組の鳥毛役を務めた、岸本憲明・将良さん兄弟。鳥毛ひねりを終えた瞬間の充実感いっぱいの表情です



秋葉神社で奉納された「稚児舞」。小学生6人が優雅な舞を繰り広げ、参拝客の目を楽しませました



秋葉神社の境内では玄蕃太鼓振興会による和太鼓の演奏が行われました。まつり当日に演奏を行ったのは今年が初めてで、勇壮な太鼓に大きな拍手が送られました



町教育委員会のザック・スターンさん。秋葉まつりでは初めて外国の方がみこし担ぎに参加しました。「面白かった。またやりたい」と、すっかりみこしの魅力にはまったようです

収穫の秋には棚田は黄金色に（九月）



集落見聞録

(第33回)

なかむら 中村

中村は1月末現在、18世帯42人、役場本庁から車で約10分の所にあります。

旧大崎村の中心地であることからこの地名が付いたといわれています。

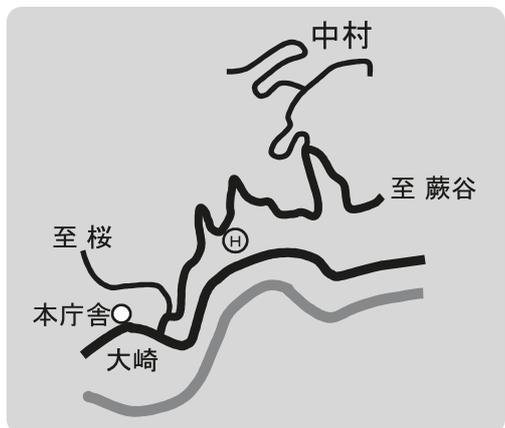
四季折々に美しい姿を見せてくれる棚田が集落入り口から見えます。ここでは自家用の米が作られています。

また茶の栽培も多く、きれいに手入れされた茶畑をあちらこちらで見ることができます。



中村集落

その昔、集落には相撲好きの人が多く、強い人は「岩鉾(いわほこ)」というしこ名を使い、大崎や田村、遠くは高知まで出掛け、相撲を取っていたそうです。当時は集落のお宮にも土俵があり、相撲でにぎわっていたそうです。



助け合い、協力し合って...



片岡晴彦さん(左)と井上利明さん

集落に詳しい片岡晴彦さんと井上利明さんにお話を伺いました。恒例行事は一月の春祭り、四

美しい棚田が迎えてくれる里

月の花見、七月と十二月の神祭、九月の敬老会。これらの日には全世帯から人が集まり、楽しいひとときを過ごすそうです。このほか年に二回、道路の清掃作業なども行っているそうです。
「珍しいものも、自慢したいものも何にもないけれど、今のところ、どの家にも誰かはおる（住んでいる）。道も傷んでないし、そういうことは、ええことじゃないろうか」と井上さん。その一方「若い者がおらんけ、そのうち空き家も出てくる。そうなってくる

といかんねえ」と今後に不安も。
片岡さんは「年を取ると、買い物や病院などに出掛けるのに困る。今はコミュニティバスや移動スーパがあるの、で何とかなっている。これをぜひ続けてもらいたい」と話していました。
さまざまな課題や不安はありますが「集落のみんなは仲が良いので、いろいろなことを話して、助け合い、支え合って楽しく毎日を過ごしたいですね」と最後は笑顔のお二人でした。